

アラビア語 映画のシナリオコーパスから見えること

長渡 陽一

1. アラビア語圏と地域区分

地図1



2. 会話体(口語体)と文語体(ダイグロシア diglossia)



3. 文語体と会話体の違い

1) 日本語では

38.4% (252 単語のうちゴシック体の 97 単語) が文語単語

「秘密説」西周

かくのごとき題号を掲げば、その主論のいかんたるを論ぜず、人々その心裏、貪知的（カリヲシチ一）の性を攪動して、見んと欲し、聞かんと欲し、その秘密たるいかに知らんと欲し、その意思を発揮すること、なお痛痒の撫搔を要するがごとし。たとい初頭一目下、その取るに足らざるを知るといへども、愚駭自棄の人にあらざるよりは、意を惹て措く能わざらしむるもの、人の性すなわち然り。ゆえに秘密の二字はかえって強く人の貪知性を揮擲し、いっそうその注意を倍せしむるものなり。

古人すでにここにおいて、その機計を施す者あり。薬に家伝・奇方あり、刀槍の技に秘伝あり、音楽に秘曲あり、和歌に秘訣あり、兵法に秘書・秘伝の陣法あり、奥義と唱え、極秘と称し、もって専売の具となす。かつて聞く、論語与点の章のごとき、闇斎派の儒学にありて、その口授また謝金百疋を要するの例にありと。けだしこれをして公然これを伝えしめば、人視てもって平々凡々となし、珍奇・貴重の量あるいは減ずることあらんを恐るのみ。ゆえにその貴重するは、その物の貴重すべきにあらずして、十襲珍重、人をして容易に窺い知るを得ざらしむるの方法にあり。しかるに世すでに開明に趨くに及んでは、人智日にして、すべてこれらの拙策、おおむねその巢窟を覆えさる。今それ西洋電磁の諸術もしくは銀汞写影の技のごとき、もしこれを秘密に附せば、人々の驚愕、はたいかなるべき。しかしてこれが理を明かし、これが法を肇し、四州に伝播して少しくも顧惜するところなし。愚夫・痴漢もこれを与かり知ることを得。世すでにかくのごとく開明に向かうときは、いわゆる真言秘密の法、修験護摩の術も、まさにその根拠を失してその行くところに窮せんとす。ひとり怪しむ、いわゆる秘密なるもの、なお政事の上に存することあるを。請う、こころみにこれを論ぜん。（『明六雑誌（中）』岩波文庫 pp. 157～159 より）

2) コーパス

エジプト映画『テロリズムとケバブ』
(120 分、1993 年制作、シャリーフ・アラファ
ア監督、アーデル・イマーム主役)
・第 1～第 10 シーン(約 15 分)の 1193 語

一般市民の男性が、子どもの転校手続きのために政府合同庁舎へ。仕事をしない職員と小競り合いとなり、駆け付けた警備のライフルが暴発したことから、人質を取って庁舎へ籠城するテロリストと誤解される。公務員や高級官僚などの横暴を風刺すると同時に、不満を持ちながら声を上げない国民の姿をも風刺したコミック映画。

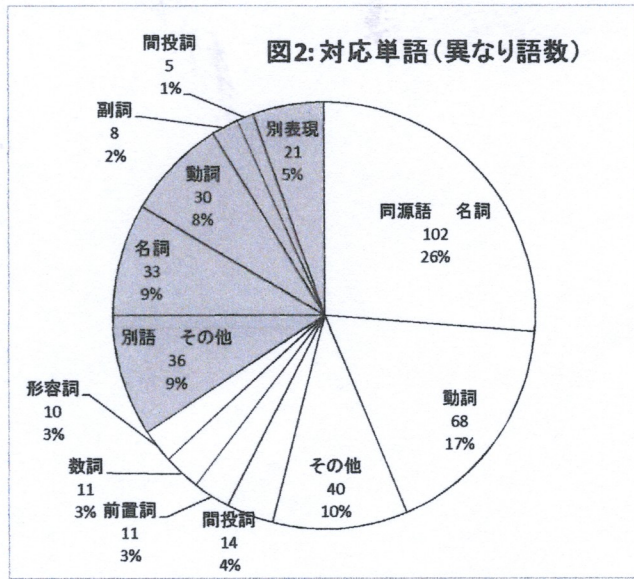
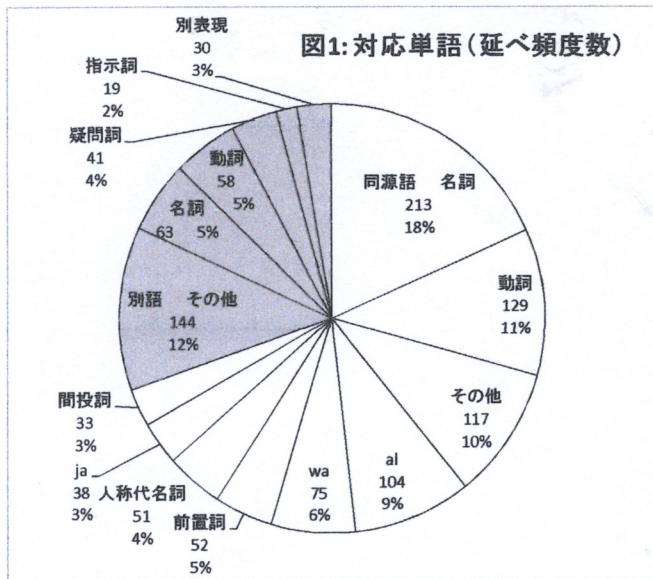


↑アーデル扮する一般市民（右）と援護に加わった男



↑カイロはタハリール広場に建つ合同庁舎が舞台

3) 会話体と文語体の単語はどのくらい重なっている？



4) 単語対応関係

		会話体	文語体
同源性対応	「3」	tala:ta (t)	θala:θa (θ)
	「アパート」	ʃaʔʔa (?)	ʃaqqa (q)
	「家」	be:t (e)	bait (ai)
	「新しい」	gidi:d	dʒadi:d
	「あなた」	ħadritak	ħadratuka
	(定冠詞)	el	al
	「と、そして」	wi, w	wa
別語対応	「別の」	ta:ni	a:χar (θa:ni は「2番目」)
	「明日」	bukra	ʔad (bukra は「早朝」)
語根共有語	「男」	ra:gil	radzul
	「私たち」	iħna	naħnu
疑問詞	「何」	e:	ma:, ma:ða:
	「どこ」	fe:n	aina
	「どう」	izza:i	kaifa
文語体でない表現	「やめろ」	bala:ʃ	
	「あのね」	baʔullak e: (私は君に何を言っているか)	

4. ことばから見える社会

1) “田舎者”

	カイロ発音	上エジプト発音
合同庁舎	mugammaʃ	mudʒammaʃ
二坪	ʔirate:n	girate:n

2) 遺書がだんだん文語体へ

エレベーター	昇降機
asansi:r	miʃʃad
でも	しかし
bass	wala:kinna
止まらなかった	止まらざりし
ma tʃaʃtaletʃ	lam yataʃaʃtal
それは運命だ	これぞ運命なりや
da qadar	innahu qadar

3) テロリストの威厳

sakatatka ummuk.
 汝が母、子を失いし！

4) “ザグルータ”

5) 内務大臣の威厳



5. エジプト方言の疑問詞位置

5.1. 動詞文で、疑問詞が主語でない場合

- (1) enta ʔult e: bi-z-zabtʃ? 「君は正確には何を言ったの？」
 君 言った 何 正確に
 主語 動詞 目的語 副詞句
- (2) ge:t hina le:ʔ? 「なぜ来た？」
 来た ここ なぜ
 動詞 副詞句 副詞句
- (3) aya:f min e:ʔ? 「私が何を恐れているって？」
 恐れている から 何
 動詞 副詞句

5.2. 存在文の主語（有る物、居る人）

- (4) fi: e:ʔ? 「何がある？(どうした?)」
 ある 何
 存在詞 主語

5.3. コピュラ文（～は～だ）

- (5) dija:nt-ak e:? 「君の宗教は何だ？」
 宗教 -君の 何
 主語 補語
- (6) kullu-ku mi:n? 「君たち全員は誰だ？」
 全員-君たち 誰
 主語 補語
- (7) e: d-dawfa di? 「この騒ぎは何だ？」
 何 (定)-騒ぎ この
 補語 主語
- (8) mi:n do:l? 「これらは誰だ？」
 誰 これら
 補語 主語
- (9) fe:n el-walad? 「その子はどこだ？」
 どこ (定)-子
 補語 主語

5.4. 擬似分裂文（～するのは何か？型）

- (10) e: illi enta btešmel da? 「その君がしていることは何か？」
 何 (定) 君 している その
 目的語 主語 動詞
 補語 主語
- (11) mi:n illi fatan šalaj-ja? 「私のことを告げ口したのは誰か？」
 誰 (定) 告げ口した について-私
 主語 動詞 副詞句
 補語 主語

構文と疑問詞位置(表2の再整理)

	文頭移動	元位置	後方移動
動詞文(目的語、なぜ等)	4	144	
(主語)		3	6 (何が起きた?)
存在文(主語)		30	
コピュラ文(補語)	49	35	
(主語)		5	
擬似分裂文(補語)	22		
合計	83	207	6